



# 平成29年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月10日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)  
 コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 平成29年3月17日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年4月期第3四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成29年1月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	30,392	2.6	1,462	—	1,542	—	1,032	1.4
28年4月期第3四半期	29,625	7.9	1,550	28.2	1,658	40.3	1,018	34.0

(注) 包括利益 29年4月期第3四半期 1,153百万円 (16.0%) 28年4月期第3四半期 994百万円 (1.5%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
29年4月期第3四半期	214.96		—	
28年4月期第3四半期	212.03		—	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
29年4月期第3四半期	37,512		11,623		31.0	
28年4月期	27,928		10,584		37.9	

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 11,623百万円 28年4月期 10,584百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭		円 銭		円 銭
28年4月期	—	0.00	—	24.00	24.00
29年4月期	—	0.00	—		
29年4月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年4月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 10円00銭

## 3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	37,600	3.9	1,240	4.5	1,260	△5.0	820	3.3	170.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年4月期3Q	5,075,500 株	28年4月期	5,075,500 株
② 期末自己株式数	29年4月期3Q	271,211 株	28年4月期	271,192 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年4月期3Q	4,804,293 株	28年4月期3Q	4,804,318 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. その他	8
(1) 役員の異動	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年5月1日から平成29年1月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調となりましたが、新興国の景気減速や英国のEU離脱問題、米国の大統領選挙後の株価や円相場の急激な変動など不安定要素の世界経済への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、安全・安心かつおいしさの追求に重点をおいた包装餅び包装米飯の適正価格での安定供給に努めることを基本に、お客様の消費動向を捉えながら多様化するニーズに対応した販売活動を行ってまいりました。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別の販売動向は以下のとおりであります。

包装餅製品では、当社と大手資材メーカーが共同開発した業界初となる「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)を、当社グループの包装餅製品へ全面的に導入して賞味期限を24ヶ月に延長したことに加え、同フィルムの機能性向上をアピールするテレビCMの放映等により、年末の最需要期に向け、当社子会社である株式会社きむら食品とのシナジー効果を最大限生かすべく販売促進に取り組みました。また、新商品として10月よりお正月のハレの日にあふさわしいきらびやかなパッケージデザインを採用した「迎春パリッとスリット」を発売しました。小飾りタイプの鏡餅では、キャラクター商品としてのハローキティに加え今年よりリラックマのオリジナルマスコットを採用した商品拡充を行いました。さらに、少子高齢化等の社会構造の変化による食生活スタイルの多様化、個別化に伴う新しい食シーン提案型商品としてのスティックタイプの切り餅を使用したスタンディングパウチタイプの鏡餅「サトウの鏡餅 賀正いっぱい」を発売しました。その結果、12月の天候が比較的温暖に推移した影響があったものの、包装餅製品の売上高は174億2百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

包装米飯製品では、新たな販路拡大の取り組みとして、沖縄地区限定で沖縄の文化に対応した贈答用アイテムをラインナップに加えるとともに、石垣島出身のエンタメユニット「きいやま商店」を起用したテレビCMを放映いたしました。さらに、2人でシェアする食シーンを提案した商品として「サトウのごはん かる〜く二膳」、レンジアップして冷ますと塩味のおにぎりが簡単に作れる「サトウのおにぎり用 塩ごはん」を9月に発売するとともに、今年もJA各県本部との共同企画として地域の特産品が当たる販促キャンペーン等販売促進に取り組みました。また、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できることに加え、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にそれぞれマッチし、堅調に推移いたしました。その結果、包装米飯製品の売上高は129億53百万円(同8.2%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高はその他製品36百万円(同24.8%減)を加えた303億92百万円(同2.6%増)となりました。

利益面につきましては、売上総利益が増加したものの、発送配達費、広告宣伝費及び販売促進費等の増加に伴い販売費一般管理費が増加したことから、営業利益は14億62百万円(同5.7%減)、経常利益は15億42百万円(同7.0%減)となりました。また、特別損失において当四半期に減損損失の計上がないことから、親会社株主に帰属する四半期純利益については10億32百万円(同1.4%増)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は375億12百万円となり、前連結会計年度末に比較し95億84百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金(前連結会計年度末比87億95百万円増)、機械装置及び運搬具(同14億4百万円増)の増加が主な要因となっております。なお、機械装置及び運搬具の増加は、主に東港工場包装米飯製造ラインの新設に伴うものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は258億89百万円となり、前連結会計年度末に比較し85億45百万円増加いたしました。これは、短期借入金(同74億20百万円増)、未払金(同16億82百万円増)の増加が主な要因となっております。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は116億23百万円となり、前連結会計年度末に比較し10億38百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金(前連結会計年度末比9億17百万円増)の増加が主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年4月期決算短信(平成28年6月13日公表)において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,085,809	2,253,353
受取手形及び売掛金	5,550,738	14,346,074
商品及び製品	849,932	1,346,782
仕掛品	999,879	363,484
原材料及び貯蔵品	3,997,501	3,611,639
その他	249,361	207,945
貸倒引当金	△4,490	△12,280
流動資産合計	13,728,731	22,116,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,692,244	2,707,941
機械装置及び運搬具(純額)	3,886,797	5,291,307
土地	2,347,426	2,347,426
その他(純額)	1,234,091	929,017
有形固定資産合計	10,160,558	11,275,691
無形固定資産	114,074	96,061
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,610,706	2,584,785
その他	1,329,875	1,456,975
貸倒引当金	△25,190	△25,190
投資その他の資産合計	3,915,392	4,016,571
固定資産合計	14,190,025	15,388,324
繰延資産	10,090	7,604
資産合計	27,928,848	37,512,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,057,377	1,249,931
短期借入金	680,000	8,100,000
未払金	2,313,886	3,996,657
未払法人税等	447,800	211,613
引当金	344,686	154,236
その他	3,482,114	3,143,336
流動負債合計	8,325,865	16,855,775
固定負債		
社債	632,000	615,000
長期借入金	6,732,092	6,794,086
引当金	74,466	77,516
退職給付に係る負債	1,112,381	1,065,356
その他	467,117	481,813
固定負債合計	9,018,058	9,033,772
負債合計	17,343,923	25,889,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	9,627,813	10,545,243
自己株式	△306,108	△306,176
株主資本合計	10,371,479	11,288,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520,475	615,134
退職給付に係る調整累計額	△307,030	△280,595
その他の包括利益累計額合計	213,445	334,538
純資産合計	10,584,924	11,623,380
負債純資産合計	27,928,848	37,512,928

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
売上高	29,625,483	30,392,649
売上原価	17,956,674	18,297,215
売上総利益	11,668,809	12,095,434
販売費及び一般管理費	10,118,077	10,632,536
営業利益	1,550,731	1,462,898
営業外収益		
受取利息	455	259
受取配当金	11,650	12,307
受取賃貸料	142,602	143,312
その他	188,348	152,433
営業外収益合計	343,056	308,313
営業外費用		
支払利息	99,134	83,782
賃貸費用	73,886	76,895
その他	62,405	68,444
営業外費用合計	235,425	229,122
経常利益	1,658,362	1,542,089
特別損失		
固定資産売却損	-	8,102
減損損失	76,939	-
特別損失合計	76,939	8,102
税金等調整前四半期純利益	1,581,422	1,533,987
法人税、住民税及び事業税	512,307	424,663
法人税等調整額	50,435	76,589
法人税等合計	562,742	501,253
四半期純利益	1,018,679	1,032,733
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,018,679	1,032,733

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益	1,018,679	1,032,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,092	94,658
退職給付に係る調整額	13,986	26,434
その他の包括利益合計	△24,105	121,093
四半期包括利益	994,574	1,153,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	994,574	1,153,827
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)

当社グループは、包装餅製品及び包装米飯製品の原材料仕入及び販売市場が各々同一であることから、工場別・営業拠点別及び全社トータルによる収益管理を行っておりますが、事業戦略の意志決定、経営資源の配分等は当社グループ全体で行っているため、セグメント情報の開示は省略しております。

4. その他

(1) 役員の異動

本日、別途適時開示しております。